

## 取締役会における実効性評価のご報告



2024年8月21日  
株式会社三機サービス  
経営管理本部

### 記

当社は、取締役会に期待されている機能が適切に果たされているかを検証し、ステークホルダーとのコミュニケーション改善、取締役会の継続的改善を目的とし、毎年、取締役会の実効性の評価を実施しています。

2024年5月期の取締役会評価における取締役会の実効性評価について、分析・評価を行いましたので、その結果の概要を以下の通り開示します。

#### 1. 評価プロセス

2024年5月の取締役会において、今回の実効性評価の方法、実効性評価で使用するアンケート項目、スケジュールを検討・審議しました。上記で決定した実効性評価アンケートを全取締役（6名）および全監査役（3名）に対し実施しました。上記アンケート結果の集計・分析内容を、2024年8月の取締役会にて、その評価と課題への今後の対応を討議し評価結果を決議いたしました。

##### 【アンケート項目（大項目）】

- ①取締役会の構成（設問+自由記入）
- ②取締役会の運営（設問+自由記入）
- ③関係会社の収益力向上（設問+自由記入）
- ④ガバナンス（設問+自由記入）
- ⑤管理体制（設問+自由記入）
- ⑥経営戦略（設問+自由記入）

※上記の大項目の下に詳細な小項目を設けて多面的な調査を行っています。

実効性評価アンケートは、毎年の継続的な測定が可能なように、一定の質問項目については毎回同じにする一方で、評価の質を高めるために、質問項目の見直しを毎年行っています。また、自由記入欄を多く設け、アンケート項目にとらわれず多様な意見や提言を吸い上げられるようにしています。

取締役会事務局にて、上記アンケートの結果を取りまとめ、共通する課題や論点を抽出しました。取締役会はその内容を勘案し審議を行い、最終的な評価を確定しました（2024年8月度取締役会）。

## 2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は審議を行った結果、当社の取締役会は、その構成、議案や審議時間、内容、議論の状況、経営への反映等々の点から、その実効性が十分に確保されていることを確認しました。

さらに、前事業年度における取締役会評価の結果を踏まえた改善を図ることにより、取締役会の実効性向上を継続的に進めていることを確認しました。

## 3. 今後の課題

今回の取締役会評価の結果、取締役会が今後も取り組んでいくべき主な課題として以下の点が認識されました。

- 成長期にある当社において、人材の増加・社内の諸制度等は激しく変化し得る。この変化に伴い、内部統制及びコンプライアンス遵守に係る取り組みに注力することが、今期も必要である。実際、今回の評価において、取締役会における最重要項目として認識されている。整備のみで完結するのではなく、都度の見直し・刷新作業を含めた対応が必要である。
- サステナビリティ項目である、人的資本・人材育成（現場技術者から次世代の経営幹部に至るまで）・リスクマネジメント等について、公式な会議体におけるより具体性を伴った活発な議論および検討が必要である。
- 取締役会における議論をより円滑化・深化させるために、より秩序だった運営を実現させることが必要である。

当社は、会社の持続的な成長と企業価値の向上を実現していくために、取締役会の実効性の向上に今後とも取り組んでまいります。

以 上